

事業所名

児童発達支援センターあゆむ（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和8年 3月 26日

法人（事業所）理念	発達障がいや適応等の課題のある子どもたちや家族への支援を通して、障がいの有無に関わらず、本人や家族、地域の方々の誰もが安心して生活できる社会づくりに貢献していきます。								
支援方針	地域の障がいのある未就学児の療育支援及び児童生徒の放課後の学童支援。また、その幼児・児童・生徒の保護者に対しての相談支援、幼児施設や学校等への訪問支援等、児童生徒の社会参加のために必要だと思われることを支援する。								
営業時間	8時	30分	から	17時	15分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握するために利用開始時に保護者より体調確認を行う。 その日の体調や本人の様子に合わせた室内外の遊びを提案する。 食事や排泄、着替え等生活に必要なスキルを身に付けられるよう支援する。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日々の関わりやあそびを通して身体の使い方を身に付ける。 外遊びや遊具を利用するあそびを通して身体能力向上を図る。 実際に見たり、触れたり、においを嗅ぐ感覚遊びを通して楽しみながら五感を育む。 個々の特性に考慮した環境設定を行う。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中での気付きを大切に、様々な経験を積み重ねて自分のものにできるよう支援を行う。 自分で選んで行動する様子を見守り、困った時にはどうしたらいいか一緒に考えたり選択肢を与えたり必要に応じてアドバイスをして更なる活動への意欲へとつなげる。 物の使い方や時間、数量、形、色などを知識として習得できるようあそびを通して働きかける。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ことばや表情、指さし、ジェスチャーなどを使って自分の気持ちを表現できるよう支援する。 興味・関心のあるあそびや関わりの中で気持ちを汲んで代弁したり、ことばを補ったり、場面に合ったことばを伝えながらことばでの表現につなげる。 支援者は簡単でわかりやすいことばを使用して、語彙力を増やしたり適切なことばを使えるよう支援する。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> あゆむが子どもたちにとって安心できる居心地の良い場所やリフレッシュできる場所になれるよう関係作りや環境構成を行う。 存分に遊んで気持ちを満たすことに重点を置き、充実感や達成感を味わいながら自信を付けて、気持ちの切り替えや様々な活動に向き合う力につなげる。 お友達と関わりではお互いの思いを受け止めて共感し代弁をして、お友達と一緒に遊ぶことの楽しさを感じて折り合いをつけながら関わる事ができるよう支援する。 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 困りごとや不安などを相談できる体制を整える。 保護者に寄り添い、丁寧な対応を心掛ける。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の希望や事業所での様子を見ながら、保育園を相談して適切なタイミングでステップアップを図る。 移行支援に関する情報を定期的に保護者へお伝えする。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 保育所や医療機関、行政等の関係機関と連携を図る。 保育所等訪問支援を活用して情報共有を行う。 地域の自立支援協議会に参画する。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 日々のOJTを活用する。 法定研修や業務上必要な研修に参加する。 			
主な行事等	通常の活動において季節に合わせた活動を取り入れている。（散歩、水遊び、雪遊び、製作、音楽鑑賞など）								

事業所名

児童発達支援センターあゆむ いいで (児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和8年

3月

26日

法人（事業所）理念		発達障がいや適応等の課題のある子どもたちや家族への支援を通して、障がいの有無に関わらず、本人や家族、地域の方々の誰もが安心して生活できる社会づくりに貢献していきます。												
支援方針		地域の障がいのある未就学児の療育支援及び児童生徒の放課後の学童支援。また、その幼児・児童・生徒の保護者に対する相談支援、幼児施設や学校等への訪問支援等、児童生徒の社会参加のために必要だと思われることを支援する。												
営業時間		8	時	30	分から	17	時	15	分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握のため、利用開始時に保護者より情報収集を行う。 その日の状況等を確認しながら室内外のあそびを提案し徹底的にあそび込む状態を作る。 生活体験を通したり、日常生活の場面を捉えながら生活する力の増幅を助ける。 												
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 指先を使用してのあそびや大型遊具を活用した体を使っての遊びなど、設定を工夫しながら、運動動作機能や感覚機能の発達の向上につながるよう支援する。 支援者の見守りの元で安全に配慮しながら十分に体験し、発達の促進につながる様支援する。 												
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 視線を合わせたやり取りを意識しながら一緒に遊びを楽しみ、様々な思いに共感し、相手を意識したり求めたりすることができる姿につながる様支援する。 様々な活動の場面で、選択と判断がしやすいように選択肢の提示をし、自己選択と自己決定をしながら、自ら活動に向かう意欲につながる様支援する。 興味関心のあるあそびを十分に楽しみ、達成感や成就感を得ながら個々の自信につながる様支援する。 												
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 興味関心のあるあそびや、支援者やともだちとのかかわりの中で、分かりやすく簡単な言葉で代弁し、活動や場面に則した言葉をたくさん耳に入れ、言葉での表現につながる様支援する。 支援者が仲立ちをして思いを十分に受け止めて共感し代弁する。どうすればよいか、どう考えるかを知らせながら一緒に考え、繰り返し経験を重ね、言葉での表現や気持ちの切り替えにつながるよう支援する。 												
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 支援者やともだちとのかかわりの中で、場やあそびの共有をし、やりとりや一緒に活動する楽しさに触れながら、相手への意識につながる様支援する。 興味関心のある遊びを十分に楽しみ、達成感や成就感を得ながら個々の自信につながり、気持ちの切り替えや様々な活動（ともだちとのかかわりや集団での活動等）に向き合う力につながる様支援する。 												
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家族や保護者の相談に応じる体制を整える。 必要時に適切な声掛けをする。 					移行支援			<ul style="list-style-type: none"> 本児の次のステージを見据え、保護者の希望や思い、事業所側から見る現在の様子等を調整しながら、適切な移行を可能にするため対応する。 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 本児を取り巻く関係機関や医療機関等との情報交換と共有を行い、密な連携を図る。 地域の自立支援協議会に参画する。 					職員の質の向上			<ul style="list-style-type: none"> 日々のOJTを有効に活用する。 外部研修を効率よく活用し、伝達研修を確実にを行い職員の資質向上を目指す。 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士のつながりやその高まりを目指し、定期的に「家族の集い」を開催。 												